

市政を問う 一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をただすことです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、20人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

- (政和)=政和会
- (公明)=市議会公明党
- (緑ネ)=緑・ネット
- (共産)=日本共産党小平市議団
- (フォ)=フォーラム小平
- (民リ)=民主リベラル

行政一般

これからの人事政策について

高橋三男議員(フォ) ①職員

②課長補佐試験制度の問題点
③管理職任用を拒否する自由はあるのか
④団塊の世代の退職に伴う再任用職員の仕方のあり方、職場環境をどうとらえているか
⑤一般事務職における女性管理職の数と類似市との比較は

市長 ①早期に基礎的な行政事務能力や市民の視点、予算・決算等の内部管理事務に関する能力等を身につけている。一方、早期に異動することから、所属課の一次的な戦力ダウンや事務引き継ぎの煩雑さ等がある。
②受験者数が過去5年平均で有資格者の25%程度にとどまっていることである。
③管理職の任用は任命権に基づく行政処分であり、拒否することはできない。
④再任用職員は、本人が培ってきた長年の行政経験や事務能力を発揮し、本格的な公務に従事している。職場に対しては少子高齢社会における高齢者の積極的活用という趣旨をさらに浸透させたい。

⑤平成17年4月1日現在、7人であり、類似団体10市中、人数及び管理職総数に占める割合はともに第2位である。
※ジョブローテーションとは
地方分権の進展やより高度化・複雑化する行政ニーズに対応するため、中・長期的視点に立つた人材育成方針として、小平市

第2次行政改革推進プランに掲げられた施策の中で、職員には採用後のおおむね10年間で異なる3つの分野の職務を経験させる。

※再任用職員とは
公的年金の満額支給開始年齢が段階的に引き上げられるに伴い、60歳代前半の生活を年金と雇用の連携により支え、あわせて定年退職者の知識と経験を社会に活用していく趣旨で導入された制度により再び任用された職員のこと。

①参加
②施策における位置づけは
③職員と市民との結びつきはどのようになっているか
④今後はテーマ性を持つことが必要かと思うがどうか
市長 ①延べ参加人数は44人であった。多数の意見・提案が出され、幾つかは市政に反映することができた。

②活気に満ちた小平市を、市民参加により実現していくための第一歩となる施策である。
③市民が行政にかかわると同時に、行政も市民の輪の中に入っていくことが大切である。
④今までのあり方を検証した上で再検討したい。

職員意識改革で接客サービスの向上を
原 邦彦議員(公明) ①日本一市民サービスのよい市と言われるような市政を実現してほ

今後の財政状況について

四市で組織する競艇事業組合に経費削減策を提案できないか
常松大介議員(緑ネ) ①東京都四市競艇事業組合が借りている多摩川競艇場の賃借料は、売上高に一定の率を乗じていると聞くがどうなっているか
②事業開始以来、支払った賃借料の合計は幾らか
③貸し主に賃借料を引き下げ

④構成市として、事業組合に経費を削減するよう助言できないか
市長 ①勝舟投票券の売上金額に4・5%を乗じたものに消費税を加算している。
②約1千4百20億9千4百万円である。
③交渉を行ったことはないが、周辺対策等の費用を負担してもらい、実質的に経費の縮減努力を行っていると思う。
④要請はしているが、具体的な方法については独自に対応するものと考えている。

島村速雄議員(政和) 新年度予算における市税の増は税制改正によるものであり、景気の回復による市民の収入増によるものではない。市は今後5年間の財政状況について、どのように推計しているか
市長 市税の急激な伸びは期待できないので、当面収入面での補てんは基金の取り崩しに頼らざるを得ない。歳出では義務的経費の増加が続くので、見直しをさらに進めなければならない。歳入では基金を取り崩して現状を維持するのが精いっぱいである。市税の徴収率の向上に努めて収入を確保していくが、少なくとも今後5年間は非常に厳しい状況と予測する。

市民表彰等を拡大して小平の名声を高めては
宮崎照夫議員(政和) ①表彰等の贈呈基準とその状況は
②市制記念日に表彰している表彰等の周知方法等は
③多摩の各市で特徴的な表彰等を行っている市はあるか

今後の財政状況について

小平市施行43周年記念式典
市民栄誉賞等の考えは
市長 ①表彰等規則に基づき、自治振興等に特に功労のあった人に行っている。
②市報やホームページ等で周知し、推薦をもらっている。
③西東京市が市民栄誉賞を設けている。
④埋もれた人等を幅広く表彰する趣旨で行っていることから、栄誉賞の創設は考えていない。
⑤特に顕著な功績に対し、特別表彰を行ってきた経緯はあるが、市の名はホームページを活用して広めたいと考える。

陸上自衛隊小平駐屯地の教官による強姦事件に対する市の対応は
橋本久雄議員(緑ネ) ①市民が被害を受けたが、今後このようないことが起こらないように、小平駐屯地に対策を求めざるべきでは。
②小平駐屯地とどのような交流を行っているか
③定期的な情報交換の場を設ける考えは
市長 ①特に対策を求めるとは考えていない。
②一般の官公庁や企業などと同程度のかかわりをしており、地元市長ということではイベントに出席している。
③イベントに出席する等の機会を利用して交流を続けようと考えており、定期的な情報交換は考えていない。

情報の公開・提供をさらに進めるために
苗村洋子議員(緑ネ) ①審議会等の公開状況は
②会議の要旨がホームページに掲載されるが、そのスピードと内容は
③会議録を市政資料コーナーに置くなどして情報提供できないか
④プロポーザル方式による業者選定に公開プレゼンテーションを採用してはどうか
市長 ①平成17年9月以降、27の機関で延べ51回あり、傍聴者は98人であった。
②原則として開催日の20日後までに市のホームページに掲載する。内容は開催日時、議題、

とも研究していく。
②カードの中で直接説明を加えることはスペース等の問題があるため、決算カード解説版を別途添付する形で考えている。
③検討していきたい。
④この方式は対象業務に対する発想等において最も適切な業

公共施設

仲町公民館・図書館の建築計画について
原 邦彦議員(公明) ①平成18年度から始まる検討委員会の構成と、今後の流れは
②どちらかの用地を活用して合築で建てかえる計画だが、スペースは十分に確保できるか
③地域の要望も検討項目として取り入れる考えである。
④平成18年度から取り組みを始める。

盗聴器の発見について、情報公開は適切に行われたのか
橋本久雄議員(緑ネ) ①発見も初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。
②個人情報を取り扱っていない部署のため、情報の漏えいはなかったとする根拠は
③公表することで市民の危機感をおおると判断した根拠は
④公表は初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。

市民栄誉賞等の考えは
市長 ①表彰等規則に基づき、自治振興等に特に功労のあった人に行っている。
②市報やホームページ等で周知し、推薦をもらっている。
③西東京市が市民栄誉賞を設けている。
④埋もれた人等を幅広く表彰する趣旨で行っていることから、栄誉賞の創設は考えていない。
⑤特に顕著な功績に対し、特別表彰を行ってきた経緯はあるが、市の名はホームページを活用して広めたいと考える。

市民栄誉賞等の考えは
市長 ①表彰等規則に基づき、自治振興等に特に功労のあった人に行っている。
②市報やホームページ等で周知し、推薦をもらっている。
③西東京市が市民栄誉賞を設けている。
④埋もれた人等を幅広く表彰する趣旨で行っていることから、栄誉賞の創設は考えていない。
⑤特に顕著な功績に対し、特別表彰を行ってきた経緯はあるが、市の名はホームページを活用して広めたいと考える。

市民栄誉賞等を拡大して小平の名声を高めては

宮崎照夫議員(政和) ①表彰等の贈呈基準とその状況は
②市制記念日に表彰している表彰等の周知方法等は
③多摩の各市で特徴的な表彰等を行っている市はあるか

市民栄誉賞等の考えは
市長 ①表彰等規則に基づき、自治振興等に特に功労のあった人に行っている。
②市報やホームページ等で周知し、推薦をもらっている。
③西東京市が市民栄誉賞を設けている。
④埋もれた人等を幅広く表彰する趣旨で行っていることから、栄誉賞の創設は考えていない。
⑤特に顕著な功績に対し、特別表彰を行ってきた経緯はあるが、市の名はホームページを活用して広めたいと考える。

市民栄誉賞等を拡大して小平の名声を高めては
宮崎照夫議員(政和) ①表彰等の贈呈基準とその状況は
②市制記念日に表彰している表彰等の周知方法等は
③多摩の各市で特徴的な表彰等を行っている市はあるか

市民栄誉賞等を拡大して小平の名声を高めては
宮崎照夫議員(政和) ①表彰等の贈呈基準とその状況は
②市制記念日に表彰している表彰等の周知方法等は
③多摩の各市で特徴的な表彰等を行っている市はあるか

盗聴器の発見について、情報公開は適切に行われたのか

橋本久雄議員(緑ネ) ①発見も初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。
②個人情報を取り扱っていない部署のため、情報の漏えいはなかったとする根拠は
③公表することで市民の危機感をおおると判断した根拠は
④公表は初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。

盗聴器の発見について、情報公開は適切に行われたのか
橋本久雄議員(緑ネ) ①発見も初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。
②個人情報を取り扱っていない部署のため、情報の漏えいはなかったとする根拠は
③公表することで市民の危機感をおおると判断した根拠は
④公表は初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。

盗聴器の発見について、情報公開は適切に行われたのか
橋本久雄議員(緑ネ) ①発見も初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。
②個人情報を取り扱っていない部署のため、情報の漏えいはなかったとする根拠は
③公表することで市民の危機感をおおると判断した根拠は
④公表は初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。

盗聴器の発見について、情報公開は適切に行われたのか
橋本久雄議員(緑ネ) ①発見も初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。
②個人情報を取り扱っていない部署のため、情報の漏えいはなかったとする根拠は
③公表することで市民の危機感をおおると判断した根拠は
④公表は初期捜査も終わりで、捜査への影響も考えにくいことから行ったもので、市報と資料に相違はない。

仲町公民館・図書館の建築計画について

原 邦彦議員(公明) ①平成18年度から始まる検討委員会の構成と、今後の流れは
②どちらかの用地を活用して合築で建てかえる計画だが、スペースは十分に確保できるか
③地域の要望も検討項目として取り入れる考えである。
④平成18年度から取り組みを始める。

仲町公民館・図書館の建築計画について
原 邦彦議員(公明) ①平成18年度から始まる検討委員会の構成と、今後の流れは
②どちらかの用地を活用して合築で建てかえる計画だが、スペースは十分に確保できるか
③地域の要望も検討項目として取り入れる考えである。
④平成18年度から取り組みを始める。

仲町公民館・図書館の建築計画について
原 邦彦議員(公明) ①平成18年度から始まる検討委員会の構成と、今後の流れは
②どちらかの用地を活用して合築で建てかえる計画だが、スペースは十分に確保できるか
③地域の要望も検討項目として取り入れる考えである。
④平成18年度から取り組みを始める。

仲町公民館・図書館の建築計画について
原 邦彦議員(公明) ①平成18年度から始まる検討委員会の構成と、今後の流れは
②どちらかの用地を活用して合築で建てかえる計画だが、スペースは十分に確保できるか
③地域の要望も検討項目として取り入れる考えである。
④平成18年度から取り組みを始める。